

6月15日1982・No.42

京橋の印刷

発行所

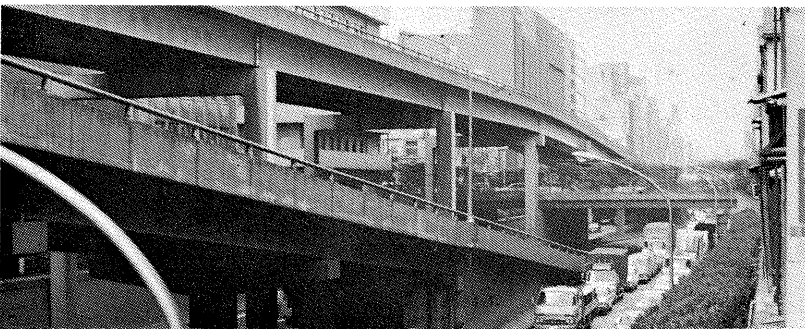
東京都印刷工業組合京橋支部
〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 552-1855

印刷所 八千代印刷株式会社
編集 田島 弘



天祖神社 (八丁堀三の六) いまの彈正橋を渡つてすぐ左(北)に折れ、一八〇メートルほどいくと、右手の横丁に八天祖神社の小さな社が見える。神社は、もと伊雑太神宮とよばれた。明和八年(一七七二)の『江戸絵図』には八イソベ、文政十一年(一八二八)の『江戸絵図』には八大神とある。『江戸名所図絵』によると、祭神は伊佐波登美命・

玉柱屋姫命の二座。寛永元年(一六二四)、伊勢長官出口市正某が伊勢神宮の別宮である伊雑宮の分霊を通三丁目に迎え、同十年、いまの地に移したとし、神明造りの小社と、神明鳥居のある境内の図を掲げている。現在、社の西南向き、コンクリート造りらしい神明鳥居の正面に、木造神明造り、側面等を漆喰塗りにした天祖神社の額を掲げている。



目次

△表紙▽天祖神社(八丁堀).....	1
巻頭一言.....	1
昭和五十七年京橋支部通常総会	
児玉新執行部誕生.....	2
国際組版・上海工場訪問記(2).....	9
得るものが多かった.....	11
支部の動き、訃報、編集後記.....	12

巻頭一言

松島さんが新しい理事長として就任した。大正七年のお生れというから千支でいうなら「戌午」ということになる。奇しくも副理事長さんご三方も午歳だという。巨人軍のトロイカ方式を上廻る四頭だということ、安定した走行が望めるのではないかと大いに期待をかける。このところの印刷業界全体は悪い一方である。といっても大手は永年の蓄積と実績にまだまだ余裕が残っているが、九人以下の零細に至っては、明日は、明後日は、来月はと、先行き不安に戦っていて、心にゆとりが無いから、初夏の爽やかな佇もあまり目に入らない。何とかならぬものかと八方模索するが、世界的不況の中で、得意先も、輸出がふるわない。内需がいま一つと渋い。またぞろ前に戻って麦飯を喰わねばならぬかと案ずるが、贅沢に馴れてはそれもならない。



昭和57年度

京橋支部通常総会

児玉新執行部誕生

昭和五十七年度、東京都印刷工業組合京橋支部通常総会は、五月十一日(火)午後四時より日本印刷会館七階講堂に於いて開催された。

当日は来賓を始め多数の組合員が出席され、さしもの大講堂も満席となり、人いぎれに温度も上昇する有様であった。定刻、水野副支部長は司会を司り、

——京橋支部、昭和五十七年度通常総会を開催いたします。私は司会の入船地区の水野でございます。何分よろしくご協力をお願い申し上げます。——と前置して、開会の辞をのべる神林副支部長を紹介した。



開会のことば 神林副支部長

神林副支部長は、登壇して次のように述べた。

——本日は皆様ご多忙のところ、多数ご出席戴きまして有難うございます。またご来賓の皆様には、京橋支部総会のためにご出席賜りましたことを厚くお礼を申しあげます。さて、これより事業報告、事業計画案等につきご審議頂くわけですが、現在、非常にむつかしい時期に当りまして、組合が愛される組合であ

生産性の「拡大」に
「コニースーパーテン」がお応えします。

毎時1万枚の超高速菊全判オフセット印刷機 2・4・5色機

 **小森印刷機械株式会社**

本 社 東京都墨田区吾妻橋3丁目11番1号 〒130 ☎東京 (624)7161番(大代表)

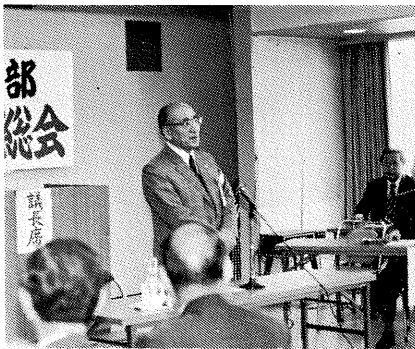
構改を中心と致しまして、本年度はいくつかの問題を抱えておりますが、特に中期的な展望に立ちまして、分法野とか、料金問題をからめた労働時間の短縮とかいくつかの問題を、基本方針の中に盛り込んでございます。この点につきましては後刻担当者より細かく提案がございしますが、当業界の発展のために、中期的展望に立った提案をいたしますので、皆様のご協力を頂戴いたしますと思います。



石曽根支部長ご挨拶

り、また魅力ある組合であることを目標といたしまして、皆様の熱心なご審議と御協力を賜りたいと思っております。——石曽根支部長は次のように挨拶いたしました。——昨年四月以来一年が経過いたしました。本日ここに通常総会の開催に当り、多数の組合員の方々がお集りくださいますので、ありがとうございます。——

昨年年度の事業計画につきましては、皆様のご協力によりまして大過なく進行できましたことを深く感謝申し上げます。五十七年度の事業計画につきましては



抱負を披瀝する松島新理事長

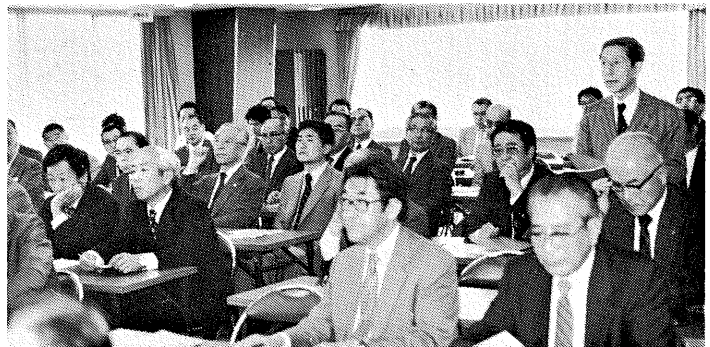
——四月一日から理事長を仰せつかりました松島でございます。先にお話しをさせて頂くことをお許し願います。後程こまかい点につきましては松本副理事長よりもう一回お話しさせていただきますと思います。

本日は、この伝統ある京橋支部へお礼を申しあげたいと思ひ、どうしても伺いたいと参った訳でございます。新執行部になりまして、京橋支部の推せん委員会、石曽根常務理事と、田島常務理事を

さて、本日は松島理事長さんが見えなくなっておられますが、日本技術協会の総会と重なっておりますので、これからそちらへ参ることになっております。式次第にはございせんが、先に松島理事長さんのご挨拶を頂戴いたしたいと存じますので、私のご挨拶はこれにて終らせて頂きます。——

推せんして戴きました。これは私の二年間のあいだに、どうしても業界をよくしてゆきたい、という行きかたの中で、どうしても御二人を頂きたいということをお願いをした訳でございます。ご諒承頂き、ご協力を頂いたことについて御礼を申しあげます。

細かいことは松本副理事長があとでお話することになりますが、私の考え方を簡単にお話しさせていただきますと思います。



永井印刷工業(株)若林亮氏より動議が出される

生活にはずみを

無担保・無保証人

文信フリーローン

上手な住居づくりに

文信マイホームローン

文化産業信用組合 | 京橋支店

東京都中央区八丁堀4-13-1 ☎551-9625(代) 104

トウのビジネス封筒

名刺・カード・はがき

営業品目

- 事務用和洋封筒
- 名刺用紙
- 私製はがき
- 招待状カード
- マド付封筒
- ROMAD封筒
- DM用封筒

株式会社 **トウ エニパック**

- 本 社 東京都江東区永代1-2-1 電話(642)1141(代表)
- 配達センター 東京都江東区永代1-1-7 電話(643)3237(代表)
- 支 店 城南☎(727)4141 本郷☎(643)7461 城西☎(994)5151 浅草☎(643)7851
- 橋本工場 橋本町下野賀野木町友友 電話0285(5)2100(代表)



熱心に耳を傾ける

私は大正七年の生れで、副理事長三人が大正七年生れということで、偶然そうだったのでございます。あの方方は昭和生れということで、何か若返った感じで皆様方が、何か変ったことをするのはないかと解釈されますと困りますが、組合行政というものは、もともとそう簡単に行くものでなく、長い単々とした流れの中でどう対応して行くかということ、歪みのないように改良してゆかなければならないということがある訳です。しかし、基本的には長期的な考え方として、どうして21世紀に今の若人達がのれるような状態に業界をしていかなければなら



ないか、ということでもあります。皆様方が外国に行かれて、如何に二世を育てているかということに思いを至すとき、日本で考えている以上に教育をしていることに気付かれると思います。私もソ連や欧州に行きまして、それぞれの国が二世の再訓練というか、二世に将来を背負ってもらうための教育に対して非常な投資をしているのを感じるのです。ります。

この点につきまして我々としては、今後日本の印刷業界として、息子がどこへ行ってもいいのではなくて、必ず後を継ぐような業界にもって行かなければいけないし、自分達の業績の中にさらに積み重ねて良くして行くのだ、という主張を

うち立てて頂かなければ、21世紀の印刷業界は良くなるのではないかと考えるのです。

現在実際に働いている一億一千六百万人の85%が昭和生れで、明治、大正が約二千万人といいますが、その方々が主導権を持つてるといふ形なので、そういう中で何かこれからワンステップずつでも



事業報告は坂田副支部長

良くしてゆきたいと考えておきます。そして皆様方に、現実のことと、中期的なことと、そして長期的なこととで、我々がどうやってゆくか、組織的なすべてのもので流れを作ってゆくことが私達の任務であり、理事長以下全員で少しずつでも良くしてゆく、そして何か変わった良くなったという形が出れば私の任務は済み、その上加えて頂くという現

象の中で頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。――
新理事長はニューリーダーとして抱負を披瀝した。

続いて予定通り議事に入り、石曾根支部長は支部規約第22条に則り議長席についた。この時、入船地区永井印刷工業株式会社若林亮氏より動議があり、五十六年度事業報告、同収支決算報告等は事前に配布されており、特に重要と思われる点については充分なご説明は願いたい。その他については要領よくまとめてお願したい。と大要以上の如き発言があり全員拍手をもってこれを承認した。

- 第一号議案 昭和五十六年度事業報告
- 第二号議案 同収支決算報告
- 第三号議案 同監査報告

以上三議案を上程し、坂田副支部長は次の四項目について説明を行なった。

- 一、構造改善計画の推進
- 二、物価安定と適正利潤の運動
- 三、組織強化と拡充の活動



監査報告

四、福利厚生事業の推進
 田島副支部長の決算報告に続き、神田監査、竹内監査により監査報告が行なわれた。

第四号議案、昭和五十七年度事業計画案は、田島副支部長によってまず基本方



事業計画案の説明 田島副支部長

針が述べられ、特に組織強化のための加入促進、業界の発展向上のための競争秩序の確立、公共的事業外での無秩序な昼夜操業の規制等にふれ本題に入り、

- 一、構造改善事業の推進
- 二、適正利潤確保の推進



田島副支部長 決算、予算報告

三、資材対策の推進
 四、教育事業の進め
 五、労務改善への取り組み
 六、福利厚生事業の進め
 七、組織対策と活動の進め
 について説明を行なった。

第五号議案、昭和五十七年度収支予算案が田島副支部長により、昨年実績を對比して詳しく説明された。

第一号議案より第五号議案までは全員一致でこれを承認。次期役員選考についての第六号議案の審議に入った。



花崎実選考委員長

花崎選考委員長は簡単に選考委員会の決果報告を行ない、詳細については記録に基づいて石曾根支部長が報告する旨を告げた。

石曾根支部長は、一月十四日の臨時総会で承認された選考委員七名により委員会を開催し、まず互選により委員長に花

崎実氏を選任し、続いて本部内規にもとづき支部長候補者に信濃印刷(株)児玉正己氏を推せんし、内諾を得た。また本部長任理事候補者については省略いたしますが、このような経緯により、信濃印刷(株)玉社長を次期支部長に推せんいたしました。

花崎委員長は、今まで本部で指名していた本部長候補者、理事は、今後は本部長の要請に基づき各支部の推せん本部へ出ることになりました。候補者は松島理事長によって決定しましたが、先ほどの理事長のお話のように本部の役員構成も若くなりました。その期待は大きいものがありますと経過を報告した。

議長により、八丁堀地区信濃印刷(株)児玉正己氏を次期支部長に推せんし、全員一致の拍手をもって決定。以上をもって議事を終了した。

新役員紹介に移り、十氏が紹介された。

- 支部長 八丁堀地区 児玉 正己
 - 副支部長 新富地区 中村 憲吉
 - 〃 築地地区 土井 嘉光
 - 〃 入船地区 畑井 健良
 - 〃 湊地区 新保 義人
 - 〃 八丁堀地区 三田村桂太郎
 - 〃 新川地区 金山 耕二
 - 〃 月島地区 室田 利一
 - 監 査 京橋地区 飯島 秀智
 - 〃 銀座地区 瀬戸 恭平
- 演壇前に一列にならんだ新役員を代表して児玉支部長は次のように述べた。

ハイデル情報

ハイデル単色Mオフセット機

菊半裁判 四八〇×六五〇%

最高速度八千

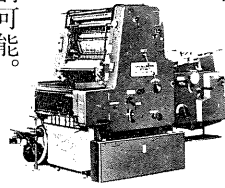
毎時。ナン

バリング、

刷り込み、

ミシン目

入れ、二分割可能。



ポーター情報

ポーター九二EMC断裁機。

最大断裁幅九二cm

マイクログ

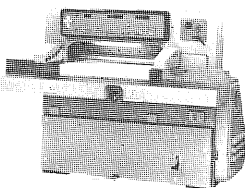
ンピュータ

搭載の新高

速断裁機。

積紙高十二cm

重量一八〇kg



印刷機械貿易株式会社

香里本社 大阪府寝屋川市豊里町一四

電話〇七二〇三二一〇四四一

東京事業部 東京都品川区南大井三二一四

電話〇三二七六三二四一四一

——このたび京橋支部をお預りすることになりました。選考の経過につきましては花崎委員長よりご説明がありましたが、私は支部長の器ではないと再三お断わりいたした訳でございますが、押し切られた形でお引き受け致した訳でございます。

私はこの難かしい経済状態の中で、また目まぐるしく変わる現代社会の中でこの



児玉新支部長あいさつ

名誉ある大支部をお預りして、歴代の支部長さんのようにその責務を果せるか、非常に心配している次第であります。幸にして各地区より優秀な部長さん、区長さんが出ておられますので、これらの方々とよくご相談の上運営して参りたいと思っておりますが、組合員の皆様方の絶大なご支援を頂きまして、任務を全うしてゆきたいと考えております。——
来賓挨拶に入り松本副理事長により、支部総会が無事に終了し、新旧役員の交替も終り、名誉と伝統ある京橋支部らし

い立派な本部事業と表裏一体となった事業計画が承認され、まことにおめでとございます。また石曾根支部以下執行部の皆さんにはご苦勞様でした。また児玉新支部長さんをはじめ、仲々事業も大変な時だと思っておりますが、京橋支部を背負って頂いて、本部事業に絶大なご協力を賜りたい。と前置し、

——昨年は構造改善事業を中心としてきたわけですが、皆様の絶大なご協力により、四月二十三日に昭和五十六年度の報告を致しまして、五十七年度の構造改善計画を印刷分科会でご承認頂きました。これで初めて構改事業が軌道にのったという感じになったわけでございます。

昨年は、紙の不況カルテルなるものが行なわれ、大変ご迷惑をおかけしましたが、これも通産省、メーカー、その他流通業界といろいろ話し合ひまして、業界に大問題をもたらすことなく整理ができたということ、全く皆様方のご協力の賜だと深く感謝致しております。

さて、先程もお話しがありましたように、業界の環境も厳しく、需要構造の変化に伴い、いわゆる経営手法の変化というものもここに至りて現実味をおびてきていると思えます。機械においてもワードプロセッサ、OA等での製造手法もかわって参りましたし、官公庁等のゼロシーリングは特に昨今、鈴木総理自ら租税特別措置法を徹底的に見直すのではな

とは私共構改事業を進めて行く上において、大いに関係があるのではないかと思いますが、その対応として組合員皆様方の一層の団結が必要だと考えます。

また技術革新の進展、いわゆるエレクトロニクスの発展により、われわれの身边は大きくその環境がかわってきており



ます。それに加えて値段が上らない、収益性の低下、経営環境、需給バランスの悪化といったようなことが山積いたしております。こういう中で松島執行部がスタートした訳であります。

プロセスインキの最高峰

New Champion

Super Apex



大日本インキ化学

山 桜 製 品

株式会社 山 桜

本社 東京都中央区築地3-2-9

電話 542-8511 (大代)

工場 東京都昭島市大神町1046番地

支店 神田・中野・五反田・浅草・板橋・亀有

墨田・蒲田・横浜・千葉・大阪

五十七年度の方針と致しましては勿論構改革事業を中心として進めてゆく訳であります。中でも適正利潤の確保対策は難かしい問題でございますが、強力に進めていきたいと考えております。経営手段の変化に対応すべく、その方策、人材養成事業、組織強化等いろいろの事業を新年度において進めていくわけですが、これらの事業を進めるためには、組合員皆様の絶大なご協力がなければ何々難しいことでございます。

特に今回は、京橋支部より石曾根支部長、田島副支部長が新しい松島執行部の常務理事として参画して頂くことになりました。石曾根支部長は常務理事として構造改善事業を担当して頂くことに内定致しております。

京橋支部という古い伝統のある大きな力をもった支部組合員の皆様のご協力、ご援助を新しい松島執行部にお与え頂きまして新しいスタートを切らせて頂きましたと考えております。

司会の水野副支部長は、中央区工団連白橋会長の後任として次期会長に内定している池宮副会長にご祝辞を賜りたいとお願した。池宮副会長は、

——本日は白橋会長が親しく皆様にご挨拶申しあげるべきでしたが、中央区商店街連合会の総会が同時刻に開かれておりますので私がお伺い致しました。

さてふり返ってみますと、私も執行部をお預りしてから満六年が経過したわけ



池宮工団連副会長

でございます。その時は私は石曾根さんにお願して執行部に入って頂き、以来三期に亘り副支部長、支部長として支部の運営に尽された貢献につきまして深甚なる敬意を表します。また本日就任された児玉新支部長さんは、同じく私の執行部でお互に苦勞しつつ運営してまいりました。三期に亘る実績をもった申し分のないお方でございます。

現在、我々の業界ばかりでなく一般に世界的に不況の波が滞っているようですが、この変化の多い予測もつけにくい非常に難かしい時代でございますが、新支部長さん並びに副支部長さんは、それぞれ堪能な方ばかりで、私どもは安心して支部をお任せして余りあるのではないかと考えております。児玉支部長さんのご健闘をお祈り申し上げます。

さて先程、本年度支部事業計画につきまして、工団連に対する協賛ということが出ておりました。ご高承の通り今年は

結成以来三十周年という一つの節目を迎えました。先程ふれました商店街連合会が三十周年で、我々より十年早く発足しております。

——両団体共催のもとに今秋十月十四日、中央会館で記念式典を行なう予定で、いま準備を進めております。その二十周年記念事業として、第二回の工業文化展を十月二十日から四日間、旧紅葉中学跡地が約千坪程ございますが、そこで行なう準備を進めているわけでございます。

京橋支部は、工団連の三分の一以上の会員を占めているのであり、皆様方のご支援、ご教示が無ければ良い成果を得ることはできません。

予算書に協賛費が計上されていることを拝見いたしましたして厚くお礼を申しあげるとともに、絶大なるご支援をくださいますようお願い申し上げます。



綿貫支部長ご祝辞

綿貫東京軽印刷工業会中央支部長は、石曾根さんには、お引立てを願ってまいりましたので残念ですが、しかし児玉新支部長さんとも、工団連を通じてご指導を頂いており、今後共私共の業界をご指

導願いたいし、私共も共通の悩みを抱えており、皆さんがクシャミをすれば私たちは肺炎をおこしてしまいます。どうか私どもも頑張つてこの不況を乗り切つていただきたい。と述べ、盛んな拍手をうけた。



市川顧問祝辞

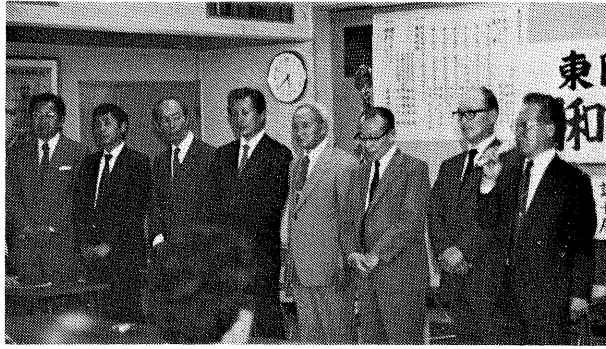
来賓最後の祝辞に立った支部顧問(株)三和印刷市川社長は石曾根執行部の労を稱い、立派に総会が終了したことは誠に同慶の至りだとし、今後の組合の発展を願ひ、支部行政に協力して頂きたいと結んだ。

本日の来賓としてなお次の方々が出席くださった。
 牧野東製工京橋支部長、根本東商中央務長、伊坂東印工組顧問、花崎京橋支部顧問。

退任役員を代表して石曾根氏は、——昭和五十五年四月の総会で選出されましてから、今ここに並んでおります三田村、室田の両氏を除く方々が退任となります。

私ども執行部は、就任以来緊縮予算を組んで皆様にいろいろのご無理をお願い

して参りました。特に当執行部では新年総会を都内で行なうとか、また中央厚生事業協同組合(給食センター)の食事を利用させて頂きまして、会議費等を節約いたしました。これから行なう懇親会も給食センターにお願ひして、従来より見劣りのしないよう充分配慮いたしました。支部財政を考え、緊縮予算を編成してまいり、皆様には何か物足りなかつた



ご苦労様でした退任役員一同

面もあつたかと思ひますが、支部運営について、これからの執行部のためにも一つの例を布いたと考えております。

二年間、皆様のご協力本当にありがとうございます。



三田村副支部長 閉会の辞

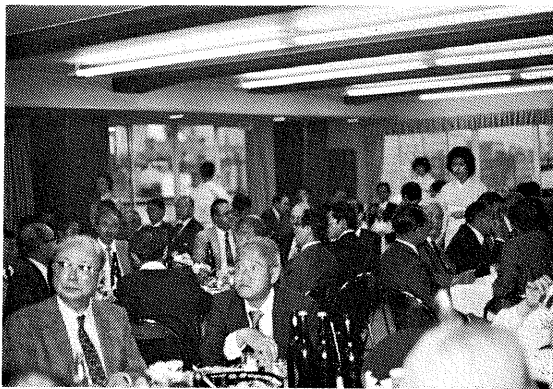
新執行部に留任となつた三田村副支部長は、長時間に亘る審議の礼を丁寧に述べ、閉会のことばとした。

総会終了と同時に会議室は忽ち模様替えされ、給食センターの山本事務長の総指揮により料理が運び込まれ、新旧役員の大童の手助けにより懇親会の準備は整つた。

神林克明氏の司会により開宴となり、中村謹吾支部顧問の乾杯の首頭により杯をあげ、華やいだ衣裳のコンパニオンがこれに色を添えた。

牧野東製工組京橋支部長、中村時王文化産業信用組合京橋店長の挨拶があり、宴も酣となつて処々で和やかな談笑のうちに交歓する組合員の姿は、日頃の厳しい環境から一時解放された暢かだった。

給食センターのお蔭で、豊富に準備された料理や飲物もまだ相当に残つていたが一応斉藤顧問の中締めがあり、帰る方もいたが大多数は座に残つて時を惜しんでいた。



紙の心をお届けする

HAGA

HAGA PAPER CO., LTD.

株式会社 芳賀洋紙店

本社 / 東京都中央区新川1-25-7
〒104 Tel. 03 (552) 9251 (大代)

杉並・仙台・高崎・名古屋・大阪・福岡

名は刺
がき
カ一
封筒
カレンダー

業界のトップメーカーで
全国で一番よく使われている!

TRADE MARK

ハート株式会社

- 東京東支店 135 東京都工東区冬木15番10号
電話(03) 641-1153番
- 東京西支店 166 東京都杉並区高円寺南2丁目37番4号
電話(03)316-2151代表
- 東京南支店 140 東京都品川区東品川3丁目26番4号
電話(03)450-1911代表
- 東京北支店 112 東京都文京区水道2丁目8番6号
電話(03)941-3141代表



杭州・西湖畔の公園に立つ碑の前で……筆者

前号で、中国図書進出口総公司・上海光華廠について少ばかり報告したが何故、中国に日本語の組版工場が出現したのかについては、そのわけを報告していないので、今回は、それについて少々説明をすることにしたい。

日本には、あまり余るほどの印刷所と印刷の組版能力があるのに、何故、中国にまで今ごろ印刷所をつくらせようとしているのか、誰でも疑問をもつところだと思ふ。

韓国組版という言葉を知っている人は多い筈である。六十年代後半から七十年代にかけて、日本の国内、とくに東京の活字組版の仕事が、大量に韓国の、ついで台湾の印刷所に発注され、日本の印刷所は、仕事が激減して苦い思いをさせられたことがあった。ニクソン・ドルショックから第一次石油ショックの前後のことである。この韓国組版発注は、まったく日本の印刷業界の頭ごしに行われたもので、主として大出版社や印刷大手会社の仕業であった。韓国の労働工賃が、日本の二分の一以下という時代のことである。

しかし、その後、韓国のインフレが、猛烈な勢いで進行し、組版料金も高騰し、日本の出版社なども、発注のメリックがなくなってきた。

そこで、次に目を付ける処はどこか？といえ、最大の漢字国である中国であると考えるのは至極あたり前ということであろう。ここには、豊富な労働力があり、韓国のようなインフレがなく安定している。しかも労働工賃は、以前の韓国よりさらに低廉である。

東印工組では、出版印刷部会が中心となり、韓国発注のときのように、業界の頭ごしに中国発注がやられてはかなわんからと、一足先に中国と交渉を開始、二カ年ほどかかって上海に工場をつくらせることができたのである。

昨年十一月八日、われわれ一行が工場

国際組版・上海工場訪問記 (2)

銀座地区 大橋忠治

写植のことなら何でも…

- 各種写真植字機
- 写真植字文字盤
- オペレーターの養成〈写植スクール〉
- 版下マンの養成〈フィニッシュワークスクール〉

株式会社 **モリサワ**

東京支店 東京都新宿区下宮比町15-5 〒162 ☎03-267-1231

ここに鮮やかな一枚
ノーカーボン紙
レジシCCP

十條製紙

〒100 東京都千代田区有楽町1-12-1(新有楽町ビル)
TEL 東京(03)211-7311

を訪れたときの情況は前回述べたとおりだが、従業員、工場長、經理を含めて七十八人の人たちが、非常な期待を日本の印刷業界にいだいていることは、そのときの雰囲気から感ずることができた。しかし昨年六月に工場がオープンして四カ月たった十一月まで、一点の原稿も日本から送られなかった、という。その原因は、一つには、日本が戦後第二の不況に見まれ、印刷界も一九八〇年五月頃から同じように不況の底に落ち込んだ、ということ。もう一つは、引き合いのあった仕事はいくつかあったというが、それが見えないわゆる難かしい組版仕事で、上海工場では、設備、技術の点から受注できなかつたという。折角、オープンした工場で、腕を揮っていた労働者の期待に反し、がっかりさせたという状況にあったようだ。

その後、難しい組版、たとえば欧文字じり、式物なども組めるように器材を日本で準備し、船積みもされている、と報告されていたから、今年の二月頃には器材も持ち込まれ、技術の習得も進められて四、五月頃は、かなりな難仕事もできるようなことになる、ということである。

上海工場でわれわれが交歓したとき、労働者全員を集めて、そのことが報告されたが、一瞬みんなの顔に、「よかつた」というような空気が流れたように感じられた。文撰工はほとんどみんな二十歳前後の女性で、日本文の文撰はできるが言

葉は、ほとんど片ことほどしかしゃべれない。

中国には文革のあと、四人組がつかまつてから日本ブームというのがあって、若ものたちは、日本に憧れに近いものを持っている。みんな世間ずれがしていないので、非常に純真で、可愛かつた。

杭州へ汽車の旅

上海では着いた夜一泊したあとさらに二泊し都合三日間いたことになる。

かつてのフランス租界、共同租界など列強国に奪われ、中国人が入ることを許されなかつた地域を何度も通過したが、建物は古くてイタミもひどく、立派だとはいえないが、二階の窓の外に綱を引張って洗濯ものが風にひるがっていたりして、これも外国の支配から脱して、今は完全に中国人の土地になったんだなあと、思わせる風景があつた。

自由市場というのが市内のどこどころろにあつた。人の群れがあふれている。品物は野菜や魚、肉類などがかなり豊富で、人々の表情は、けっこう、ゆったりしているように思われた。

十一月九日、上海駅を十時に出発。中国の汽車(中国語で火車)には、いまから四十年前に、北京から鴨緑江北岸の安東まで乗って以来のことである。われわれの乗っている客車は、中国では「軟座車」と呼ばれるいわゆる一等車である。まことにゆったりした、乗心地土々の客

車である。「硬座車」という三等車には中国人が乗っている。社会主義国でも、このような差別があるのがイササカ不可解であつたが、この軟座車に乗っているのは日本人とアメリカ人だけであつた。

車窓のそこは、平和な田園風景である。この地方は、水に恵まれた処で湖や沼が多い。それをつなぐクリークには小さい舟が、すいすいと漕ぎすすんでいくのが見える。三十数年前に、こちら辺が戦場だつたとは思像もできない。線路の両側を、冬枯れの楊柳が後方に飛んでいく。

黒土の畠の上で十数人の農民が、さかんに鍬を振って、共同耕作する姿がみられる。そういう一団が、処々の畠の上でみられた。農業合作社の農民達だろうとおもわれる。

杭州は美しい街である。

駅前からバスで少し走ると西湖の湖畔にでる。左手は、湖が広々とした全容をみせ、右手は小高い山々が連つている。山の上に古い塔がそびえ、道のところどころに、青い瓦と屋根がそりかえつた建物、赤い柱の堂宇が中国らしい風景を醸しだしている。

「杭州飯店」というホテルは、上海のホテルに比べるには立流なホテルである。余り立流だったので、ホテルの支配人に「このホテルは中国人が建てたものではないのか？」と質問したら、ムツとした顔で「イヤ中国人が建てたものだ」とどなられた。

対話へのかけ橋

1枚の封筒にも
大きな使命が
かせられています。



山口封筒

本社 〒104 東京都中央区八丁堀2-2-7 電話(551)1151代
工場 〒132 東京都江戸川区西端江4-21 電話(652)7721代

夕方、ホテルの前の湖の浜辺を散歩していると、中国人の青年たちが、四、五人忽ち寄ってきた。はじめはチョット警戒して、何事かと思つたが、彼らは、日本語で話しかけてきて、「ぼく達は、日本語を勉強しているので、もし言葉が間違っていたら注意してください。」という。割りとしつかりした日本語なのにおどろく。早速、質問してみた。

問 日本語を習いたい、ということはあるか、日本で学校に行きたいということか？

答 日本にいきたいです。でも、日本に行くには、日本に親戚か日本人の友人がいて保証人になってくれないければ、出国の許可してくれないのです。

問 観光旅行で日本に行くことは許されるのか？

答 いまは、許可されません。

問 それでは、中国には、自由も民主主義もないのではないか？

答 以前は、もっとひどかった。四人組がいなくなつてから、随分とよくなつた。

※

中国の治安について一寸、ふれておきたい。

数年前、ヨーロッパに行ったときローマやミラノ、パリなどで、日本人は、盗難や誘拐に会うから気をつけろ、荷物は手から絶対に離すな、と言われたもので

あるが(アメリカではもっと恐ろしいという)、中国ではどうだろうか。一週間の旅行では正確に判る筈もないが、旅行中、盗難の心配も、暴力の心配もなかった。西湖で、わたしはその夜、八時頃、一人で湖のふちにて、湖の「なみち」とも思われる両側が湖の途を、約二キロほど歩いてみた。月がきれいだった。時々、自転車の人間やアベックに会った。しかし、全く危険を感じることがなかったのである。

その夜は、ホテルの喫茶ルームで中国青年達が奏でる管絃楽の演奏をきいた。

得るものが 多かつた

新川 地区

伊森 善之

早いもので二年前、田島前区長と大竹参与さんが私の事務所に来られ、「君の他に誰もいない、次期区長を受けろ」と依頼され、盲蛇に怖じず、区長を引受けからもう二年が過ぎようとしている。恥かしながら、組合のお手伝いなどほとんどタッチしたことなかつた私にとっては、正直いって区長の仕事は大役でした。

二年間を振り返って、地区の先輩として大竹さんと小山さんには、初めから終

りまで種々御知恵と御指導をお願いし、また地区会計には船尾さん、総務に佐野さん、野村さん、企画立案に中村さん、旅行に小島さん、円谷さん、等々名幹事さんに恵まれ、その努力の上に乗つただけで、どうやら二カ年大過なく全う出来ましたことを感謝致します。

支部では毎月開かれる部長会、地区長会も、石曾根支部長を初め執行部の皆様の熱心な討議に参加し、初めは「物言えば唇寒し秋の風」と余分な発言を出来るだけ控えていた私も、皆さんの熱意にだんだん引き込まれ、また本部、支部と地区の交流の接点の中で、他地区の区長さんの頑張っている姿を見て、組合運営のむづかしさと、その任に当る人々の御苦労を見せられ頭の下がる思いでした。

この新川地区は、区長は再任されないという約束が二十数年前からあります。京橋支部でも一、二位の大地区新川といえども、再任なしの輪番制だけでは人材が枯渇する心配が出て来たのは事実です。

組合員全部が組合に参画していくことは理想ですが、区長、副支部長候補ともなれば、時間的にも規模的にも余裕がなければ誰にでも出来る役ではないと思います。

先輩、長老にお願いしたいことは、これからは各班の幹事さんは勿論今迄どおりの輪番制で行くとしても、区長さん、副支部長さんは、ある程度の組織的、規

日本を代表するインキ

TOYO KING

ULTRA70



東洋インキ

和・欧文 活字

材料 / テープ・メタルベース 他

インキ / 阪田 大日本 東京 東洋 各

和・欧文 各パンフレットあります



株式会社 京橋岩田母型

551 - 1380 - 2830 ・ (店頭)2827

模的に出来上ったグループの中から互選されるようになればスムーズに引き継がれるようになると愚考します。

その意味でも、次期区長に大竹さんの再任をお願いし、また副支部長に金山さんをお願い出来たことは新川地区にとって幸いでした。

五十七年新友会の旅行は「南国沖繩」への二泊三日。戦中派にとって忘れられない涙の旅でした。

地区行事としては、昨今騒がれているワードプロセッサーが出現し、勉強会の一環として朝日新聞社の見学会など、これからのわれわれ印刷界の指向を見せられ声も出ず帰り、これからのコンピュータ時代の幕明けを見た思いでした。

本部、支部の行事や催しで、本地区への割当てで、われわれ幹事だけでは引受けきれないで当惑しているようなとき、二、三の先輩が残りの引受けを申し出てもらったり、もろもろの有形無形に地区の皆様の暖い心情と御協力により、恙がなくこの長いような短いような二年間を過ぎました。結果として何も出来なかつたけれど、区長をさせて戴いて私には得るものが沢山ありました。重ねて皆様に御礼申しあげます。どうもありがとうございます。

原温泉「阿しか星」、石曽根支部長
若本書記出席。

2月9日 顧問・相談役・参事の会開催
於支部会議室、新支部長選挙状況、
理事会報告を行なう。

2月12日 部長会・地区長会開催。於支
部会議室、権改調査票の回収促進等
について協議。

2月12日 第四回役員選挙委員会開催。
於支部会議室。

2月15日 第五回役員選挙委員会開催。
於支部会議室。

2月18日 ドルッパ展旅行団打合せ会。
於東京エアシティターミナル。

2月23日 中央区工団連工業事業主、工
業優良従業員表彰式。於中央会館、
石曽根支部長出席。

2月24日 第六回役員選挙委員会開催。
於支部会議室。

3月1日 次期役員選挙委員会開催。於
支部会議室、理事候補者を決める。

3月3日 本支部部長会。石曽根支部長
出席、理事候補者を推せんする。

3月11日 本部理事会。於日本印刷会館
七階、各理事出席、臨時総代会に於
ける理事選挙方法等について検討。

3月12日 部長・監査・地区長会開催。
於支部会議室、水濁防止法特定施設
の追加による届出義務について支部
で一括提出すること等を協議。

3月13日 東印工組江東支部創立三十周
年記念講演会ならびに祝賀会。於永

代信用金庫本店ビル、支部長代理と
して若本書記出席。

3月24日 臨時支部部長会。於京橋会館、
理事選挙問題について協議する。

3月26日 顧問・相談役・参事の会開催
於支部会議室、理事会報告、次期役
員選挙経過報告等を行なう。

4月2日 昭和五十六年度京橋支部会計
監査を行なう。於京橋支部会議室、
神田、竹内両監査、会計担当田島副
支部長、石曽根支部長も立合う。

4月9日 京橋電気安全協会理事会。於
中央消防署、石曽根支部長出席。

4月21日 部長・監査・地区長会開催。
於支部会議室、通常総会事業報告の
検討を行なう。

4月21日 新規就職者歓迎会開催。於中
央会館、工団連白橋会長、池宮副会
長、石曽根支部長が出席する。

4月21日 京橋電気安全協会幹事会開催
於築地スエヒロ、石曽根支部長出席
工場見学等について話合う。

4月21日 京青会年次総会開催。於勤労
福祉会館、石曽根支部長、佐々木副
支部長代理、若本書記出席。

4月23日 日本橋支部とドルッパ旅行打
合せ。於成島印刷所、石曽根支部長
神林副支部長出席。

4月28日 顧問・相談役・参事の会開催
於支部会議室、二十四名出席、「井
上計を勤めます会」パーティ券の取扱
方等について協議。

支部組合員の異動

新加入組会員 (57・3月)
栄新印刷(株)、金子玉男殿 (新富地区)
新富2-13-4、印刷産業ビル

計 報

2月13日 入船地区組合員、小筆印刷(株)
社長御尊父、小筆正次郎殿が御逝去
されました。行年七十九歳。

4月2日 銀座地区組合員、(有)平野印刷
所社長、平野三郎殿が逝去されま
した。行年八十一歳。

5月4日 八丁堀地区組合員、(有)山本印
刷所社長御母堂、山本すい様が御逝
去されました。行年七十九歳。

編 集 後 記

昭和55年4月に副支部長を仰せつかり
「京橋の印刷」編集担当となつてからの
越し方を振り返ってみると汗顔淋漓の想
いである。第27号から第42号までの16輯
の編集に携わったわけであるが、尊敬す
る篠倉鐵郎氏が退任直後の五月七日に急
逝され、それを初仕事の記事に載せた悲
しい想上が印象に残っている。また毎号
これといったヒットもなく慚愧の想いに
駆られたが、曲りなりにもここまでこら
れたのは、大東印刷岡野氏、銀座地区大
橋氏、伊森地区長、湊地区中山氏ほか多
数の皆様のお蔭と深く感謝している。

支部の動き

2月5日 京青会新年顔合せ会。於湯河